

杉戸町版スーパーシティプロジェクト

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・分断されている人と人、人と資源をつなげるにより「顔の見える経済圏を創る」というビジョンの実現に向けて、まちなかを中心に、人のエネルギーとお金がめぐる仕組みを作ることで町全体の経済がめぐり、自立型で持続可能なまちづくりを目指す。 ・杉戸町中心部にある東武動物公園駅東口通り線周辺の「まちなか」エリアで、旧杉戸小学校跡地の公共施設再編や東口通り線の拡幅整備等に伴い、地域の拠点となる機能を設置して都市機能の集約化を目指す。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による公共交通利用者の減少、交通弱者の増加による公共交通維持への影響、都市施設の稼働率低下 ・空き家、空き地、空き店舗の増加による施設維持の困難、施設撤退による生活サービス機能の低下 ・都市のスポンジ化や低密度化、都市施設の老朽化、高齢化や担い手不足による農業や中心市街地商業の低迷、地価の下落 ・多様な地域資源、自然資源や歴史資源等を有しているが十分な活用が図られておらず、回遊性に乏しく、観光客の伸び悩み ・異常気象による洪水や地震など

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	東口通り線周辺を中心としたウォークアブルなまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・東口通り線周辺を中心としたコンパクトな市街地を維持することで、子育て世代や高齢者等の住みやすい環境を形成し、町民内外の交流・定住を促進 ・空き家・空き地・空き店舗を有効活用し、まちの回遊性を高め、まちなかの賑わいを創出する。 ・東口通り線、大落古利根川、みなみがわ散策道、旧杉戸小学校跡地の公共施設の整備による町の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店の活性化、地域資源、歴史資源の活用(空き家、空き店舗対策) ・官民連携の体制づくり、エリアマネジメント ・マーケット、キッチンカーなど営業施設 ・県道東口通り線、古利根川などの整備
スマート	デジタル技術を活用した町民の日常生活の利便性向上、安心・安全なまちづくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・東口通り線を中心としたエリアの3Dモデルを活用し、まちの将来像や人や交通の動きを可視化する ・IoTを活用したコミュニティの形成、モビリティサービス(MaaS)などによる町内拠点をつなぐ移動利便性の向上 ・防災情報のリアルタイムデータ可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT(モビリティサービス、デマンド交通、シェアサイクル、コミュニティの形成) ・3Dモデル(合意形成、賑わい、防災)
レジリエント	災害時でも途絶えないインフラの確保	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・東口通り線の無電柱化により災害時でも途絶えない交通機能、電気通信機能の確保 ・平常時の省エネ・環境負荷軽減、災害時でも途切れない電気や水などのライフラインの確保、防災・減災に寄与する地域防災拠点の構築、水災害を軽減する対策 ・防災アプリ等を活用した災害のリアルタイム情報の取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池、太陽光発電、電源取得設備、水利施設 ・エネルギーエリアマネジメント ・再生可能エネルギー ・災害情報のデジタル化、アプリ化 ・流域治水対策

